



# 医療費について 考えて みましょう！

市が運営する国民健康保険(国保)などは、皆さんが安心して医療を受けるための大切な制度です。

しかし、医療費は増加傾向にあり、国保などの財政はひっ迫した状況になっています。医療費を抑えるためにはどのようにしたらよいか、皆さんもいっしょに考えてみましょう。

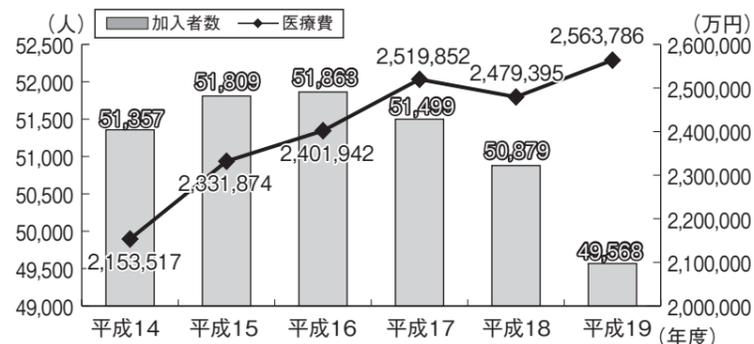
## 医療費の現状

### 〔国民健康保険〕

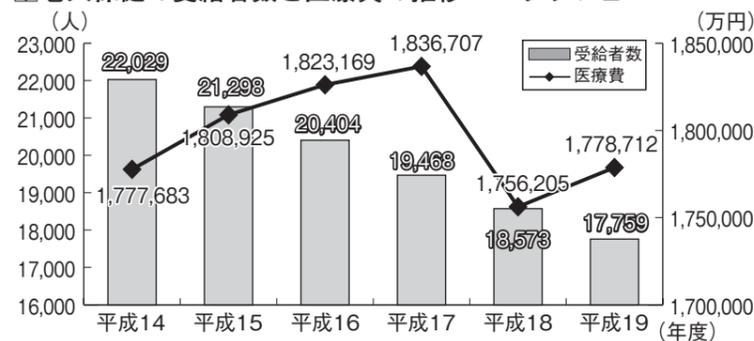
国保の加入者数と医療費の推移(グラフ1)を見ると、加入者数は平成16年度まで年々増加していましたが、同17年度以降は減少しており、同19年度は4万9,568人と前年度と比べ、1,311人(2.6%)減少しています。

一方、医療費は平成14年度以降、増加傾向にあります。同18年度に診療報酬が改定されるなどしたため減少したものの、同19年度は256億3,786万円と前年度と比べ、8億4,391万円(3.4%)も増加しています。

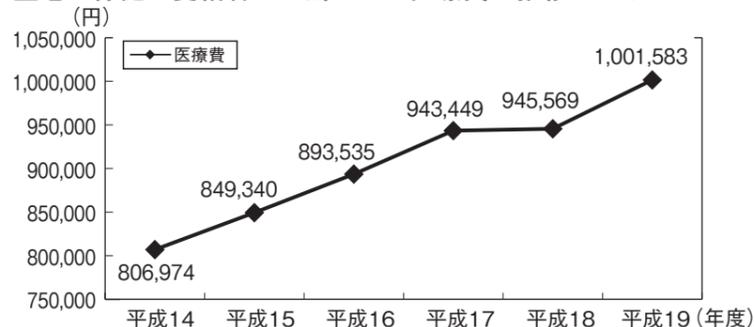
◆国保の加入者数と医療費の推移——グラフ1



◆老人保健の受給者数と医療費の推移——グラフ2



◆老人保健の受給者1人当たりの医療費の推移——グラフ3



## 医療費はなぜ増えるの？

高齢者医療制度とするため、老人保健は平成19年度で廃止され、同20年4月から後期高齢者医療制度が始まりました。

医療費はなぜ増え続けるのでしょうか。さまざまな理由が考えられますが、主なもの

としては次のようなことがあげられます。

### ◇生活習慣病患者の増加

治療に長い期間を必要とする高血圧や心臓病、がんなどの生活習慣病にかかる人が増えています。

### ◇高齢社会の進展

高齢者は医療を受ける機会が多くなるため、高齢社会の進展が医療費の増加につながっています。

### ◇医療の進歩・高度化

新薬の開発や医療機器の高度化など、医療の進歩・高度化は目覚ましいものがあります。医療費が増える一因にもなっています。

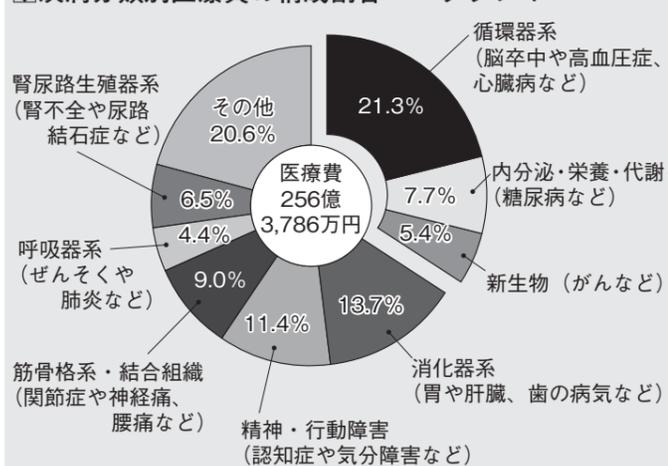
## 医療費の増加を抑えるために

医療費の増加を抑えるために次のことを心がけましょう。

### ◆生活習慣病を予防する

国保の平成19年度診療分・疾病分類別医療費の構成割合(グラフ4)を見ると、脳卒中や高血圧症、糖尿病、がん

◆疾病分類別医療費の構成割合——グラフ4



ど生活習慣病が多く含まれる「循環器系」「内分泌・栄養・代謝」「新生物」が、全体の34.4%を占めています。

生活習慣病は、自覚症状がほとんどないため、気が付かないうちに進行しています。普段から食生活や生活習慣の改善に心がけ、適度な運動をするなど、健康づくりに努めましょう。

期治療のために、特定健診やがん検診、人間ドックなどの健康診断を年に1回は受けましょう。

◆かかりつけ医や薬局を決める  
身近で頼れる「かかりつけ医」を決めましょう。自分や家族の病歴を把握してもらったうえで受診できるので、適切な治療を受けることができます。健康管理の相談相手にもなってもらえます。また、かかりつけ薬局を決めておくと、内科や外科など複数の医療機関で受診したときなどの薬の重複をなくし、医薬品による被害を防ぐことができます。

◆重複受診をやめる  
一つの症状で複数の医療機関にかかっているかもしれません。また、医療機関を替わ

市では、重複・頻回受診者への訪問指導を実施しています。これは、自分の健康に不安があるために一つの病気で複数の医療機関にかかっている人や、毎日のように通院している人に、市の看護師が訪問し、自分にあった医療が受けられるよう、また、病気に対する不安を解消できるようにお手伝いをさせていただくものです。

※詳しいことは、本庁・保険年金課国民健康保険係 ☎1111 内線1133へお尋ねください。